

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4 ご使用上のお願い -- カスタムプレースホルダについて --

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4の使用上の注意事項を連絡します。

- カスタムプレースホルダに関する注意事項

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop (*) V.4.00.00 ~ V.4.00.01

- * High-performance Embedded Workshopと連携するコンパイラなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニュー「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます

2. 内容

カスタムプレースホルダ名(*)をリンクまたはライブラリジェネレータのオプションパラメータに使用した場合、ビルド時にカスタムプレースホルダ名がパス名に置き換わらずエラーが発生します。

- * カスタムプレースホルダの定義方法は以下の通りです。次の手順で定義した名前は、\$(PROJDIR)のようにオプション選択の際に使用できます。
\$(PROJDIR)は High-performance Embedded Workshop に予め定義されているプレースホルダ名です。

- (1) メニュー「基本設定」の「カスタマイズ」コマンドを実行するとカスタマイズダイアログボックスが表示されます。
- (2) 「プレースホルダ」タブをクリックして、「アプリケーション内有

効プレースホルダ」または「ワークスペース内有効ホルダ」のどちらか任意のリストボックス右側にある「追加」ボタンをクリックすると「新規カスタムプレースホルダ」ダイアログボックスが表示されます。

- (3) 上記ダイアログボックスの「プレースホルダ」テキストボックスにプレースホルダの適切な名前、および「説明」テキストボックスにプレースホルダの説明を書き込んでください。
- (4) 次に、このプレースホルダに関連付けるディレクトリを「参照」ボタンをクリックして「ディレクトリの選択」ダイアログボックスで選んでください。

発生条件

該当製品と次の製品を組み合わせで使用する場合に発生します。

- (1) SuperH RISC engineファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ
- (2) H8, H8S, およびH8SXファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ
- (3) M32Rファミリ用 Cコンパイラパッケージ M3T-CC32R
- (4) M32C/90, M32C/80, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用 Cコンパイラパッケージ M3T-NC308WA
- (5) M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/Tiny, および R8C/Tinyシリーズ用 Cコンパイラパッケージ M3T-NC30WA
- (6) R8C/Tinyシリーズ用 Cコンパイラパッケージ 専用無償版 (*) M3T-NC8C

* R8C/Tinyシリーズ用 Cコンパイラパッケージ 専用無償版は、「M3T-NC30WA 無償評価版」に統合いたしました。M3T-NC8Cをご使用の場合はM3T-NC30WA 無償評価版に切り替えてくださるようお願いいたします。
ただし、M3T-NC30WA 無償評価版においても本問題は発生いたします。

3. 回避策

リンクまたはライブラリジェネレータのオプションパラメータには、カスタムプレースホルダを使用しないようお願いいたします。

4. 恒久対策

High-performance Embedded Workshopの次期バージョンアップの際に改修する予定です。

【免責事項】

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.